

お母さんのお乳

小川未明

青空文庫

赤ちゃんは、お母さんのお乳にすがりついて、うまそうに、のんでいました。

それをさもうらやましそうにして、五つになったお兄さんと、七つになったお姉さんとがながめていました。

兄さんは、ついに我慢がしきれなくなつたとみえて、お母さんのお乳に、小さな手をかけようとしました。すると、赤ちゃんは、顔を真っ赤にして、かわいらしい頭をふつて、さわつてはいけないといつて怒りました。

「よし、よし、お兄さん、おっぱいにさわつてはいけませんよ。これは、赤ちゃんのお乳ですから。」と、お母さんは、笑いながらいわれました。

お姉さんも、またお兄さんも、笑いましたが、お兄さんは、なんとなくさびしそうでした。そして、お母さんに向かつて、

「お母さん、赤ちゃんは、いじわるですねえ。」といいました。

「坊やも、赤ちゃんの時分は、やはりおなじだったのだよ。」

「お母さん、僕もこんなに、いじわるだったの？」

「赤ちゃんが生まれるまでは、坊やが、毎日こうして、母さんのおっぱいにぶらさがつ

ていたの。そしてお姉ちゃんの手を出そうものなら、やはり、こうして顔を真っ赤にして怒ったの……。このお乳のまわりには、みんなの唇の跡が、数かぎりなくついているので。―と、お母さんはいわれました。

このお話を聞くと、お姉さんも、そうであったかというように、かわいらしい目を輝かしました。

しかし、お姉さんも、お兄さんも、そんなにして毎日飲んだ、お乳の味を忘れてしまった、ただお乳を見ると恋しいばかり。赤ちゃんだけが、お乳の味を知っていました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 5」講談社

1977（昭和52）年3月10日第1刷発行

※表題は底本では、「お母《かあ》さんのお乳《ちち》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：雪森

2013年5月4日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

お母さんのお乳

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>